

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十五年七月度 入選句 (投稿総数二千九十句・一般投句数五百二十七句)

特選 選者 伊藤百雲

七夕の短冊に見る子らの夢 大垣市 神野 武彦

ほのぼのとした霽囲気を感じさせる句。子供等の星への願い、希望と夢、七夕・短冊・子ら・夢・家庭的な心情句。

若者の躍る和太鼓 滝開き 大垣市 小林 こま

滝開きと言うと厳肅な霽囲気を感じさせるものだが、この句は和太鼓をもつて滝開きを祝う若者の意気盛んな処が「躍る和太鼓」に托されている。

薔薇の園心はワインレッドかな 大垣市 多和田 一徳

作者は薔薇園へ来て赤い薔薇の群に包まれたのだろう、心の奥までも紅に染る思い。ワインレッドかなと強く言い切った処にこの句を佳くした。

秀逸

風鈴の千の音色や陶の駅 大垣市 野村多佳子

空蟬の影置く土間や峠茶屋 東京都世田谷区 関戸 信治

河骨の一番花へ雨太し 安八郡神戸町 後藤 和朗

夕薄暑風に乗り来る水の音 大垣市 米山 方士

終生の夢は語らず 蝸牛 養老郡養老町 田中 秀子

大あくび大の字となる夏座敷 大垣市 木村 一句

鉄塔も白雲も揺れ夏の川 大垣市 春日井 勝代

水打って風新しき夜のとばり 福井県福井市 三ツ山 ひろし

灯ともして田植終りし村静か 安八郡神戸町 高橋 日出美

草餅や故郷はとうに名を変えて 神奈川県藤沢市 門坂 螢

入選

百度石廻り茅の輪をくぐりけり
夕涼み次の一手は王手飛車
風鈴に作りたてなる句を吊す
苦船の影をおとせり夏の川
風鈴を吊る位置探す侘住ひ
まとまらぬ俳句疲れや夏の宵
晩学を励ましあへり夏帽子
すんなりと決まる昼餉や冷奴
伊吹嶺の裳裾ひろがる青田かな
看護士に続き園児の西瓜割り

大垣市	伊藤 英司
大垣市	三宅 ヒサエ
不破郡垂井町	白井 梅乃
岐阜市	山田 富美子
大垣市	佐藤 すみ子
大垣市	久富 キヌエ
名古屋市昭和区	舘野 茂子
大垣市	田村 久夫
岐阜市	富永 萬里
大垣市	横井 正明

入選

母の日の夜更けて届く旅行券
若葉風コース五キロのウォーキング
ぼうたんに鼻近づけて八分咲き
湧水に涼風もらうむすびの地
投げ入れてより整ふる青芒
風風いで噴水己を取り戻す
くノ一の呪文のごとし振り花
薄明り窓にうつすら守宮かな
マネキンの変身できぬ冷夏かな

不破郡垂井町	北村 廣美
大垣市	鈴木 美江子
大垣市	鶴田 信子
愛知県春日井市	江原 泰彦
愛知県尾張旭市	古賀 勇理央
大垣市	棚橋 みさを
大垣市	新町 恵子
大垣市	藤井 正勝
北海道小樽市	大橋 美彌

選者吟

片恋や銀河へ橋を架ける夢